

社協だより

標津町 発行/26年1月1日 編集発行/標津町社会福祉協議会

町づくり・心づくり研修

「いきいき音楽講座」を開催いたしました。



平成25年10月25日(金)標津町生涯学習センターあすばるを会場に、音楽普及アドバイザー、工藤典子氏を講師にお招きし開催いたしました。会場には、乳幼児から高齢者までの幅広い世代80名がピアノを囲んで集い、音楽の持つ不思議な力についての講話や歌詞のもつ意味、音程等の解説も含めた合唱、手遊び、リズム遊びなど会場内は明るい歌声と笑顔でいっぱいでした。講話の中に、泣いている赤ちゃんに、童謡の『チューリップ』を歌ってあげると泣き止むというお話もありました。

(「いきいき音楽講座」は、赤い羽根共同募金の一部助成を受けて実施いたしました)



皆様の会費により、標津町社会福祉協議会は運営され、様々な福祉事業に活用されています。

「標津町社協だより」は赤い羽根共同募金の一部助成を受けて発行しています。

標津町社会福祉協議会については

82-1212まで



あたたかいご寄付ありがとうございます!

社協にご寄付(寄付金・プルリング・古切手など)をいただいた方々は次のとおりです。
平成25年10月18日～平成25年12月18日

寄付金

【香典返廃止にともない】

- ・宮崎 祐治 様 ・松井 ハナエ 様 ・村元 秀子 様 ・戸田 浩伸 様
- ・渡辺 好之 様 ・石橋 ヨシエ 様 ・響 幸江 様 ・岩森 武一 様
- ・鈴木 時子 様 ・大西 英博 様 ・福澤 良子 様

【活動資金として】

- ・標津町商工会女性部 様 ・曙町内会 様
- ・セイコーマート標津まるよし店 様

寄付物品

- ・平野 浩 様 ・橋場 美和子 様
- ・標津郵便局 様 ・標津高校ボランティア部 様
- ・北海道コカ・コーラボトリング(株) 様 ・(株)上田組 様



主な行事予定 (1月～2月)

仕事始め

1月6日(月)



標津町老人クラブ連合会新春花かるた大会

日 時: 1月16日(休)
10:00～14:00

会 場: 標津町保健福祉センター
ひまわり 和室

参加対象者: 標津町各老人クラブ会員



移動献血車「ひまわり号」による献血

日 時: 1月29日(水)
9:00～16:30

実施場所	時間
標津町役場	9:00～11:00
陸上自衛隊標津分屯地	12:30～13:30
標津町農業協同組合	14:30～16:30



(注) 移動献血車「ひまわり号」では成分献血は行っておりません。

町内会への助成を行っています

【町内会福祉ネットワーク事業】

高齢者等を対象とした地域交流活動に要する費用の一部を町内会に助成します。

1地区 2万円

【子ども会活動助成金】

子ども会活動に要する費用の一部を助成します。

1地区 3万円

申請は随時受け付けておりますが、
25年度の申請書受付の締め切りは
平成26年3月10日です。

各事業実施後、速やかに申請書の提出をお願いいたします。詳細は、社会福祉協議会までお問い合わせください。

標津町共同募金委員会より

赤い羽根共同募金運動並びに歳末たすけあい募金運動にご協力頂きました皆様へ心より感謝申し上げます。ご寄付の実績額につきましては、本誌3月号の紙面にて報告させていただきます。



発行 標津町社会福祉協議会

標津町北1条西5丁目6番1-2号保健福祉センターひまわり内
*電話～0153-82-1212 *FAX～0153-82-1530
*メール～syakyou@shibetsutown.jp



福祉体験

11月6日・7日、標津小学校6年生が、総合的な学習の時間に「やさしい町ってどんな町？」車いす・高齢者疑似体験・視覚障がい者体験を学習しました。各体験に真剣に取り組んでいた子供たちの感想をいくつかご紹介いたします。

- ◆高齢者疑似体験装備を付けて、身体がうまく動かないことにより、普段できることが、思うようにできない体験をし、高齢者の気持ちが少しわかった。
 - ◆車いす体験を通して、利用者として、段差が身体に響いて怖かった。介助者として、室内や、トイレの入口が入りづらく難しかった。
 - ◆視覚障害体験を通して、介助者につかまって歩いたが、とても怖かった。見えない怖さがよくわかり、盲の人の大変さが良くわかった。
- いろいろな体験を通して、身体の不自由な人の苦労が分かった。等々子供たちの未来に「やさしい町・標津」が輝いていることを期待しています。



ふれあい広場

～幼児から高齢者まで～

11月10日(日)標津町生涯学習センターあすばるにて開催いたしました。

町内の中学生、高校生によるボランティア活動報告。特定非営利活動法人キラリ工房による活動発表と手作り人形劇「詐欺にあわないよう気を付けよう」。川北地区ふれあい・いきいきサロン参加者による踊り「花笠音頭」等。また、根室管内の福祉事業所による生產品販売は、毎年恒例の福祉バザーとして賑わっていました。当日は、あいにくの悪天候でしたが、幼児から高齢者まで、皆が集い、交流し、和やかなひと時を過ごしました。

(ふれあい広場は、赤い羽根共同募金の一部助成を受けて実施いたしました。)



新春ごあいさつ

地域一人ひとりの支援で活動している社会福祉事業

年頭にあたり、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

町民の皆様におかれましては、日頃より標津町社会福祉協議会各種事業への参加ご協力に心よりお礼申し上げます。

本協議会は、前年度より次のことを念頭に活動しております。

標津町社会福祉協議会の願い。助け合いの原点「人間は、いかなる世でも自分のみで自立して(孤立して)生きていくことはできない。助け合いが必要である。助け合いには2つの側面があり、他人と協力し、他人を思いやる心と、そのための行動(互いの能動的な側面—助けてあげる—)と、助け合いをお互い様と考え、感謝しつつも、他人の助けを当然必要なこととして意識しながら、悪びれることなく受け入れる(受動的な側面—助けていただく—)」

これからますます少子高齢化が進み「地域家族」の考え方が話題になっている今、多くの地域住民にご理解いただければ幸いと考えております。

お互いに認め合うことも大切な一つです。民生委員・児童委員協議会会報「まごころ」誌面の言葉に涙し、各講座や視察研修に参加された委員の方々の研修報告に学び、標津高校会報「ひろば」誌面の生徒たちの文章にも学ぶことがたくさんありました。お互いに会報等に目を通しながら支え合いの材料にしていきたいと思っております。

平成25年度の事業も、年度当初の計画に沿って順調に進んでおります。

地域住民お一人おひとりの温かいご支援ご協力に感謝申し上げます次第です。

社会福祉協議会は、皆様からご支援いただいております社会福祉協議会会費や寄付金・共同募金会からの助成金を主な財源として社会福祉活動に取り組んでおります。会費のご協力並びに共同募金運動へのご協力につきましては、各町内会会長様並びに班長様には、例年、大変なご苦労をおかけいたしております。皆々様のご支援ご協力に深くお礼申し上げます次第です。

地域住民お一人おひとりのご支援ご協力に感謝申し上げますとともに「標津住民一人ひとりの福祉」を念頭に、新年のごあいさつに代えさせていただきます。

2014年も標津町社会福祉協議会を温かく見守って下さいますようお願い申し上げます。

標津町社会福祉協議会
会長 渡辺好之